

2011 年 1 月 24 日

シトロエン・レーシング発(フランス・ベルサイユ)

2011 世界ラリー選手権(WRC)開幕 ～シトロエン・レーシング、第 3 世代へ～

2011 年、世界ラリー選手権(WRC)に「DS3 WRC」がデビューし、シトロエンの新たな歴史が始まります。7 度目のマニファクチャラーズ・タイトル獲得を目指すシトロエン・トタル・ワールドラリーチームは連続 8 度目のドライバーズ・タイトルを狙うセバスチャン・ローブ/ダニエル・エレナ組と、2010 年に 2 度の優勝を飾りワークスに昇格した、セバスチャン・オジエ/ジュリアン・イングラシア組の 2 チームをエントリーします。加えてペター・ソルベルグ、キミ・ライコネン、ピーター・バン・メルクシュタインがプライベートとして DS3 WRC を走らせます。



WRC のトップカテゴリーに参加して 10 年となるシトロエン・レーシングは、3 代目の WR カーを今まさに送りだそうとしています。世界タイトルをそれぞれ 3 度獲得したクサラと C4 の後を受け、DS3 WRC はスウェディッシュラリー(2月 10～13 日)から世界の舞台にデビューします。オリビエ・ケネル率いるシトロエン・レーシングは、マニファクチャラーズ・タイトルと、ドライバーズ・タイトルの死守という目標にしっかりと照準を合わせ、大事なシーズンのスタートを迎えます。

シトロエン DS3 WRC は国際自動車連盟(FIA)の新しいレギュレーションに沿って開発された独創的なマシンです。まず目を引くのはサイズの変化です。C4 に比べてよりコンパクトになり、いっそう敏捷な走りを手に入れました。シトロエン・レーシング設計の 1.6ℓリッターターボ直噴4気筒エンジンを搭載、4 輪駆動のトランスミッションにマニュアルコントロールのシーケンシャル・ギアボックス、前輪と後輪のコンスタント・パワーシェアリングシステムの採用と、見えない部分にも大幅な変更が行われました。

昨年のパリ・モーターショーで初めてその姿を現したシトロエン DS3 WRC は、以来何度もテストを積み重ね 2011 年シリーズに備えてきました。

9 カ月にわたる全 13 戦のシリーズは特色のあるイベントで構成されています。極寒のスウェーデンから灼熱の砂漠を走るヨルダンまで、WRC は男たちにとっても、マシンにとっても、とてつもないチャレンジ

ングなのです。ザビエル・メステラン・ピノン率いるテクニカルチームは、テストで最も過酷なコンディションを再現、マシンの信頼性を高め、パフォーマンスを高める努力をしてきました。

シトロエン・トタル・ワールドラリーチームは、現在は「シトロエン・レーシング・トロフィー」としてヨーロッパ各地で開催されているラリーで頭角を現し、成長してきたクルーに2台のDS3 WRCを任せます。7度の世界チャンピオンに輝く王者セバスチャン・ローブとダニエル・エレナは、新しい挑戦が始まるのを今や遅しと待っています。すでにWRCのあらゆる記録をほぼすべて手中に収めている2人は、その驚異の戦果の上に、さらなる栄光の歴史を積み重ねていくことを目指します。2010年、ワークスチームとして3つのラリーに参戦したセバスチャン・オジエとジュリアン・イングラシアはDS3 WRCの2号車を任されました。WRCですでに2度の優勝を経験している2人。彼らはそのスピードと安定性に一層の磨きをかけていくことでしょう。

ワークスチームの冠スポンサーとして長くシトロエンとのパートナーシップを結んできたトタルは今年も健在です。また、2008年に始まったレッドブルとの関係は今年も続き、DS3 WRCはお馴染みのレッドブルカラーをまとって疾走します。そのほか、DS3 WRCにタイヤを供給するミシュランとファルコン、アルコンの3社がシトロエンのパートナーに復帰します。

シトロエン・レーシング・テクノロジーズからは、3台のDS3 WRCがプライベートーとしてエントリーします。ペター・ソルベルグ／クリス・パターソン組は13戦のフル参戦、キミ・ライコネン／カイ・リンドストローム組は10戦に出場、ピーター・バン・メルクシュタイン／エディ・シュヴァリエ組は、ラリー・ポルトガルからの参戦スタートとなります。



プジョー・シトロエン・ジャポンでは、2011年もシーズンを通してWRCのリザルトをタイムリーに配信、新しく投入されたDS3 WRCの活躍をお伝えしていくことによってシトロエン車の高いパフォーマンスを広くアピールして参ります。